

DAIFUKU

Automation that Inspires

株式会社ダイフク <6383>

2023年3月期 第2四半期

(2022年4月1日 ~ 2022年9月30日)

決算説明資料

2022年11月8日



業績ハイライト p. 2

業績見通し p. 15

トピックス p. 18

目次へ

業績ハイライト



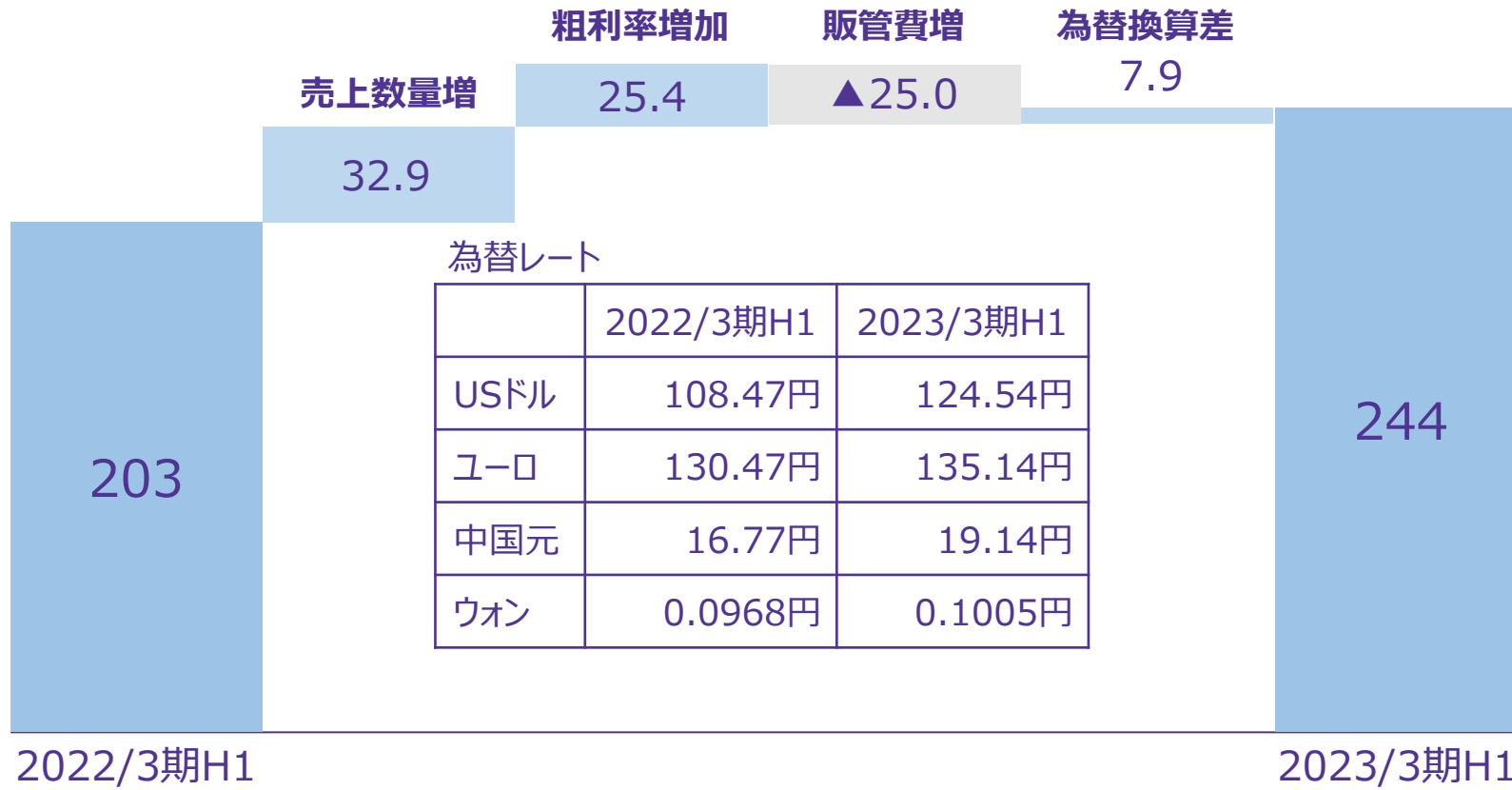
（億円）

	2022/3期H1	8/8 修正公表	2023/3期H1	対前年 増減額	対前年 増減率
受注高	2,672	3,900	4,001	+1,328	+49.7%
売上高	2,434	2,750	2,777	+343	+14.1%
営業利益	203	240	244	+41	+20.4%
経常利益	205	250	248	+43	+21.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	139	170	170	+30	+22.2%
包括利益	205	—	344	+138	+67.6%
1株当たり四半期純利益	110.46円	134.90円	135.01円	+24.55円	

✓ 受注高、売上高、営業利益、経常利益とも第2四半期連結累計期間としては過去最高を記録。

(億円)

(参考) 為替換算差
売上高: +150億円



(億円)

	受注高 (外部顧客からの受注高)			売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益)		
	2022/3期 H1	2023/3期 H1	増減額	2022/3期 H1	2023/3期 H1	増減額	2022/3期 H1	2023/3期 H1	増減額
ダイフク	1,300	1,669	+369	1,071	1,195	+124	106	123	+16
コンテック	98	108	+10	71	82	+10	6	3	▲2
DNAHC _{※1}	503	957	+454	662	730	+68	25	39	+14
CFI _{※2}	185	370	+185	171	170	▲1	16	12	▲4
その他	585	894	+308	462	591	+128	▲2	19	+21
連結調整等	-	-	-	▲6	6	+12	▲13	▲28	▲14
合計 (調整後)	2,672	4,001	+1,328	2,434	2,777	+343	139	170	+30

※1 DNAHC = Daifuku North America Holding Company

※2 CFI = Clean Factomation, Inc.

- ✓ **ダイフク :**
受注は半導体・液晶生産ライン向けが大きく伸長。
売上は豊富な受注残高をベースに順調に推移。
- ✓ **DNAHC :**
半導体生産ライン向け、自動車生産ライン向け、空港向けが大きく伸長。
- ✓ **CFI :**
半導体メーカーの旺盛な投資が継続。

連結貸借対照表

(億円)

	2022年3月末	2022年9月末	増減額
流動資産	3,813	4,039	+226
現金及び預金	1,187	842	▲345
売上債権	2,089	2,440	+350
棚卸資産	412	591	+179
その他	123	165	+42
固定資産	1,020	1,161	+141
有形固定資産	552	644	+92
無形固定資産	107	108	+1
のれん	39	42	+3
その他	67	66	▲1
投資その他の資産	360	408	+47
資産合計	4,833	5,201	+368

	2022年3月末	2022年9月末	増減額
流動負債	1,736	1,820	+84
仕入債務	761	846	+84
短期借入金	224	134	▲90
その他	750	840	+90
固定負債	176	198	+22
長期借入金	39	38	▲1
その他	137	160	+23
負債合計	1,912	2,019	+106
株主資本	2,792	2,890	+97
資本金	318	318	-
利益剰余金	2,276	2,376	+100
その他	197	194	▲2
その他の包括利益累計額	115	288	+173
非支配株主持分	12	2	▲9
純資産合計	2,920	3,182	+261
負債純資産合計	4,833	5,201	+368

- ✓ 総資産：368億円増
(主な要因)
増加：売上債権 350億円
- ✓ 負債：106億円増
(主な要因)
増加：契約負債 102億円
- ✓ 純資産：261億円増
(主な要因)
増加：利益剰余金 100億円
為替換算調整勘定 179億円

(億円)

	2022/3期H1	2023/3期H1	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	274	▲185	▲460
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲43	▲57	▲13
フリー・キャッシュ・フロー	231	▲242	▲474
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲121	▲190	▲69
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	88	+58
現金及び現金同等物の増減額	139	▲345	▲484
現金及び現金同等物の期首残高	940	1,186	+245
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	4	-	▲4
現金及び現金同等物の期末残高	1,084	841	▲242

✓ 営業CF : 185億円支出超過

(主な要因)

税金等調整前四半期純利益 229億円

売上債権及び契約資産の増加 ▲214億円

棚卸資産の増加 ▲151億円

✓ 投資CF : 57億円支出超過

(主な要因)

固定資産の取得による支出 ▲61億円

✓ 財務CF : 190億円支出超過

(主な要因)

配当金の支払額 ▲69億円

長期借入金の返済 ▲93億円

仕向地別受注高・売上高

(億円)

地域	国名	受注高				増減額	売上高				増減額
		2022/3期H1		2023/3期H1			2022/3期H1		2023/3期H1		
		受注高	構成比	受注高	構成比		売上高	構成比	売上高	構成比	
日本		1,110	41.6%	1,277	32.0%	+166	876	35.9%	970	35.0%	+93
海外		1,561	58.4%	2,723	68.0%	+1,162	1,563	64.1%	1,800	65.0%	+236
	北米	455	17.1%	889	22.2%	+433	640	26.2%	716	25.8%	+75
	アジア	859	32.2%	1,620	40.5%	+760	765	31.3%	917	33.2%	+151
	中国	285	10.7%	468	11.7%	+182	239	9.8%	278	10.1%	+38
	韓国	270	10.1%	415	10.4%	+145	255	10.5%	265	9.6%	+10
	台湾	239	9.0%	534	13.4%	+294	223	9.1%	274	9.9%	+50
	その他	63	2.4%	201	5.0%	+138	46	1.9%	98	3.6%	+51
	欧州	120	4.5%	93	2.3%	▲27	84	3.5%	79	2.9%	▲4
	中南米	20	0.8%	44	1.1%	+23	25	1.0%	19	0.7%	▲5
	その他	104	3.8%	75	1.9%	▲28	48	2.1%	68	2.4%	+20
小計		-	-	-	-	-	2,440	100.0%	2,771	100.0%	+330
連結調整等		-	-	-	-	-	▲6	-	6	-	+12
合計		2,672	100.0%	4,001	100.0%	+1,328	2,434	-	2,777	-	+343

✓ 日本
豊富な前期末受注残高をベースに順調に推移。

✓ 北米
受注は半導体生産ライン向け、自動車生産ライン向け、空港向けのいずれも大きく伸長。
売上は空港向けが順調に推移。

✓ アジア
受注、売上ともに半導体・液晶生産ライン向けがけん引。

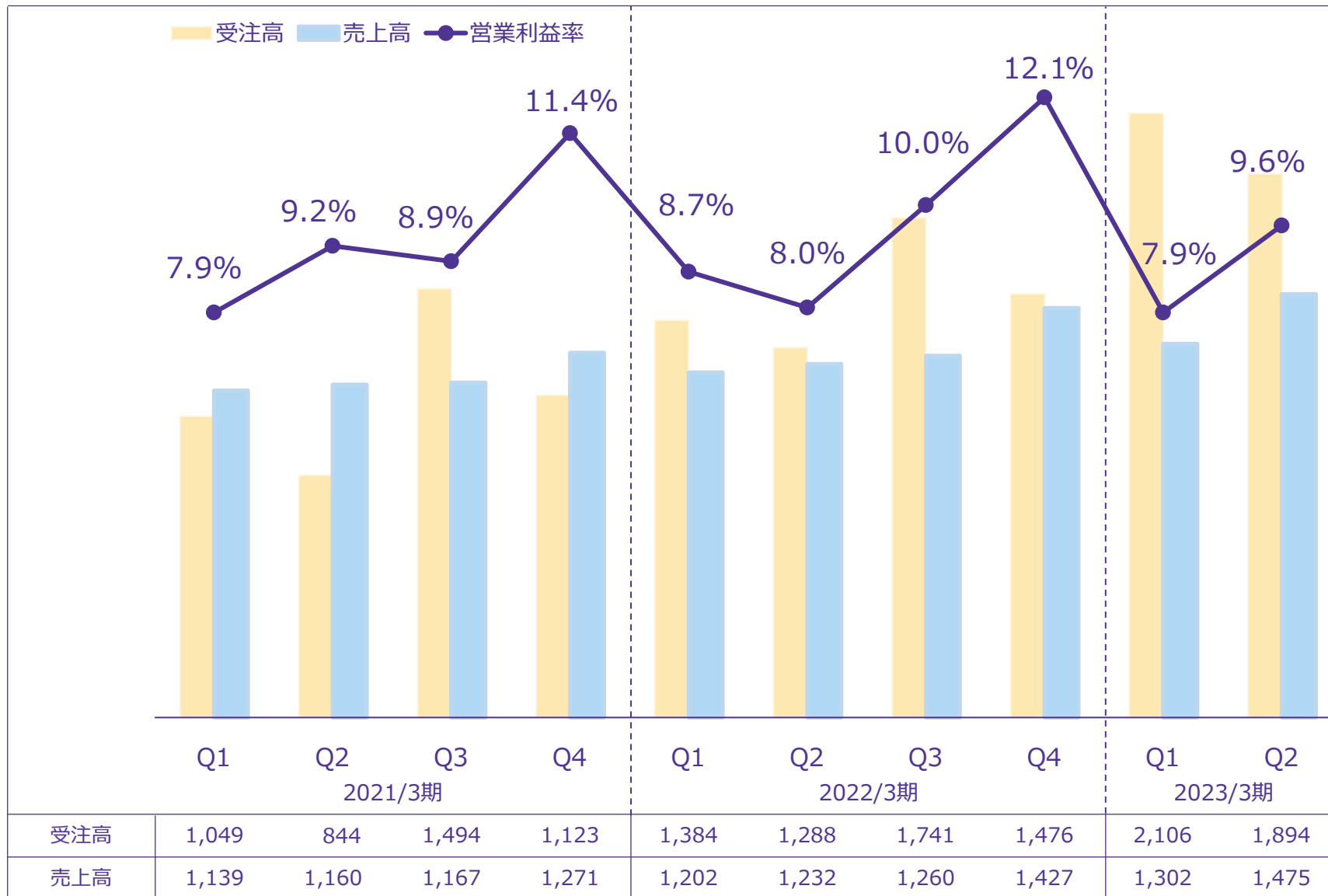
(億円)

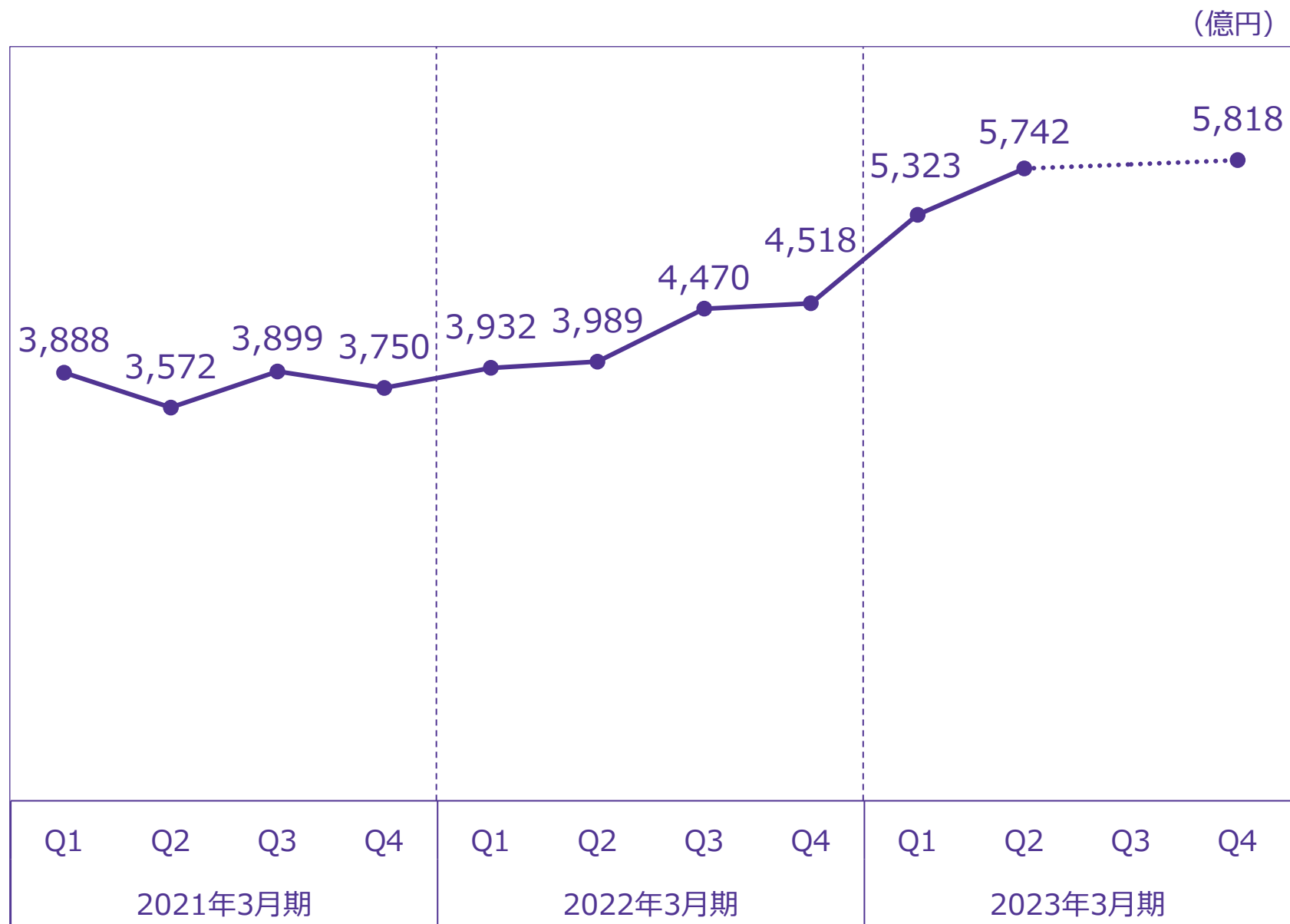
業種	受注高					売上高				
	2022/3期H1		2023/3期H1		増減額	2022/3期H1		2023/3期H1		増減額
	受注高	構成比	受注高	構成比		売上高	構成比	売上高	構成比	
自動車及び自動車部品	324	12.1%	404	10.1%	+80	277	11.4%	262	9.5%	▲14
エレクトロニクス	865	32.4%	1,856	46.4%	+991	720	29.5%	958	34.6%	+238
商業及び小売業	837	31.3%	845	21.1%	+8	781	32.0%	820	29.6%	+38
運輸・倉庫	168	6.3%	117	2.9%	▲50	139	5.7%	160	5.8%	+21
機械	55	2.1%	64	1.6%	+9	45	1.9%	60	2.2%	+15
化学・薬品	102	3.8%	204	5.1%	+101	77	3.2%	99	3.6%	+21
食品	70	2.6%	68	1.7%	▲2	96	3.9%	64	2.3%	▲31
鉄鋼・非鉄金属	25	1.0%	25	0.6%	▲0	14	0.6%	19	0.7%	+4
精密機器・印刷・事務機	28	1.1%	44	1.1%	+15	30	1.3%	27	1.0%	▲2
空港	95	3.6%	304	7.6%	+209	195	8.0%	204	7.4%	+9
その他	98	3.7%	64	1.8%	▲33	61	2.5%	91	3.3%	+29
小計	-	-	-	-	-	2,440	100.0%	2,771	100.0%	+330
連結調整等	-	-	-	-	-	▲6	-	6	-	+12
合計	2,672	100.0%	4,001	100.0%	+1,328	2,434	-	2,777	-	+343

✓ エレクトロニクス
受注、売上ともに旺盛な半導体向け
設備投資需要が継続。

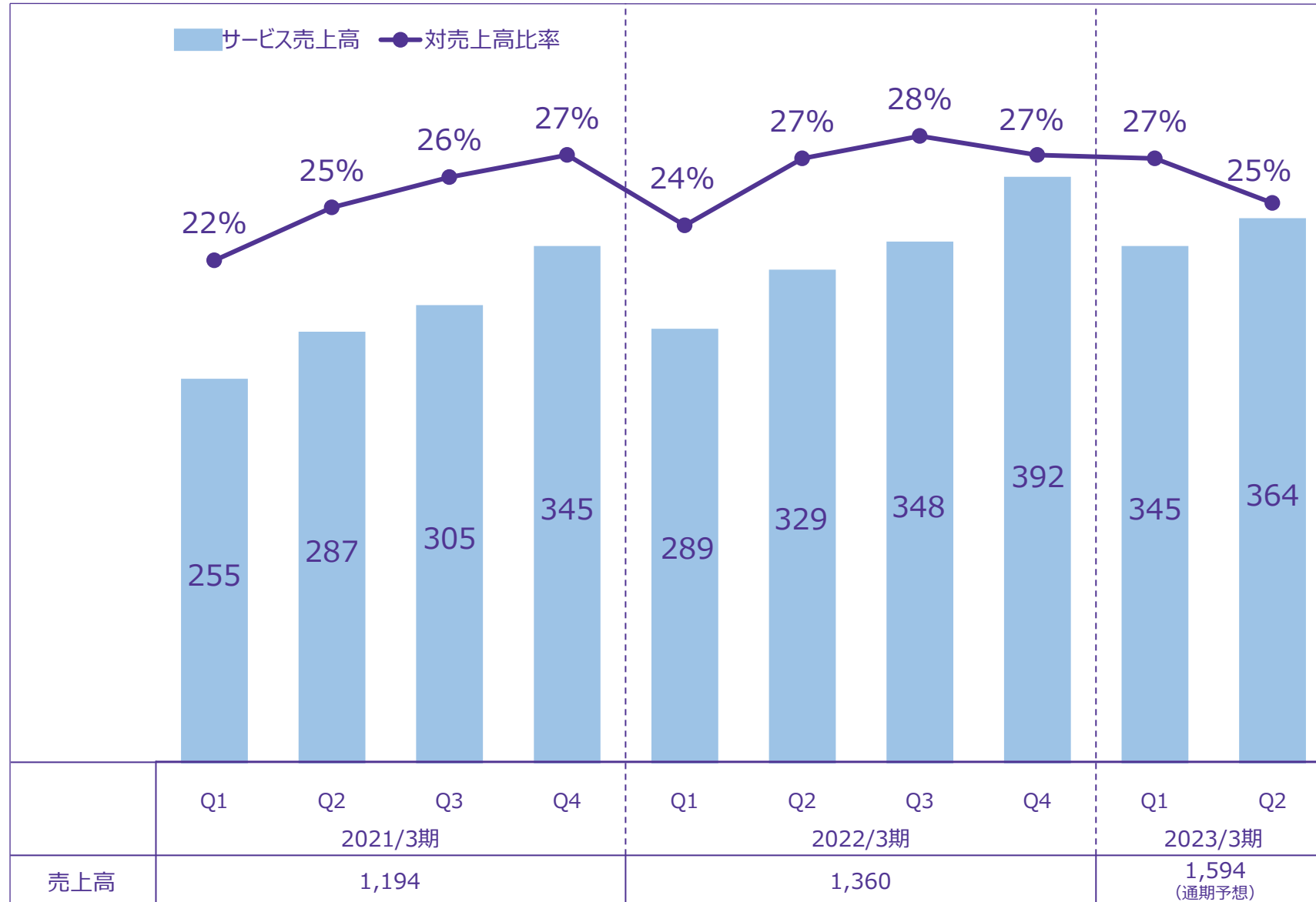
✓ 空港
北米が大きく伸長。

(億円)





(億円)



業種別受注高 四半期推移

DAIFUKU

13

(億円)

業種	2021/3期				2022/3期				2023/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2 (a)	Q3	Q4	Q1	Q2 (b)	構成比	前年同期比 増減額 (b-a)
自動車及び 自動車部品	151	88	111	139	153	170	130	120	180	224	11.8%	+53
エレクトロニクス	313	308	348	325	449	416	753	715	984	872	46.1%	+455
商業及び小売業	277	186	577	322	401	435	473	259	503	341	18.0%	▲93
運輸・倉庫	63	54	29	86	125	42	87	50	54	62	3.3%	+20
機械	24	9	22	63	15	39	8	16	42	22	1.2%	▲17
化学・薬品	32	31	36	39	43	58	53	66	114	89	4.7%	+30
食品	25	77	38	31	48	22	21	70	31	36	1.9%	+13
鉄鋼・非鉄金属	12	9	8	7	16	9	9	16	15	9	0.5%	+0
精密機器・ 印刷・事務機	12	18	12	17	11	17	12	13	24	19	1.1%	+2
空港	105	29	269	56	77	17	160	76	109	195	10.3%	+177
その他	31	30	39	31	39	58	32	70	45	18	1.1%	▲39
合計	1,049	844	1,494	1,123	1,384	1,288	1,741	1,476	2,106	1,894	100.0%	+605

業種別売上高 四半期推移

DAIFUKU

14

(億円)

業種	2021/3期				2022/3期				2023/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2 (a)	Q3	Q4	Q1	Q2 (b)	構成比	前年同期比 増減額 (b-a)
自動車及び 自動車部品	184	207	215	193	137	139	150	162	115	147	10.0%	+7
エレクトロニクス	333	310	342	383	400	319	357	436	432	526	35.9%	+206
商業及び小売業	255	323	262	313	372	409	341	427	416	404	27.5%	▲5
運輸・倉庫	55	49	61	68	60	78	90	99	82	77	5.3%	▲0
機械	39	26	24	22	20	24	31	38	29	30	2.1%	+6
化学・薬品	43	46	47	45	39	38	40	58	42	57	3.9%	+19
食品	62	48	33	33	30	65	47	57	31	33	2.3%	▲32
鉄鋼・非鉄金属	7	10	12	14	5	9	8	12	7	11	0.8%	+2
精密機器・ 印刷・事務機	19	21	25	20	15	14	14	17	11	16	1.1%	+1
空港	104	85	105	116	95	99	142	100	91	113	7.7%	+14
その他	32	30	37	58	28	33	40	33	43	48	3.4%	+15
小計	1,139	1,160	1,167	1,271	1,207	1,232	1,263	1,444	1,303	1,467	100.0%	+235
連結調整等	-	-	-	-	▲5	▲0	▲3	▲16	▲1	7	-	+8
合計	1,139	1,160	1,167	1,271	1,202	1,232	1,260	1,427	1,302	1,475	-	+243

目次へ

業績見通し

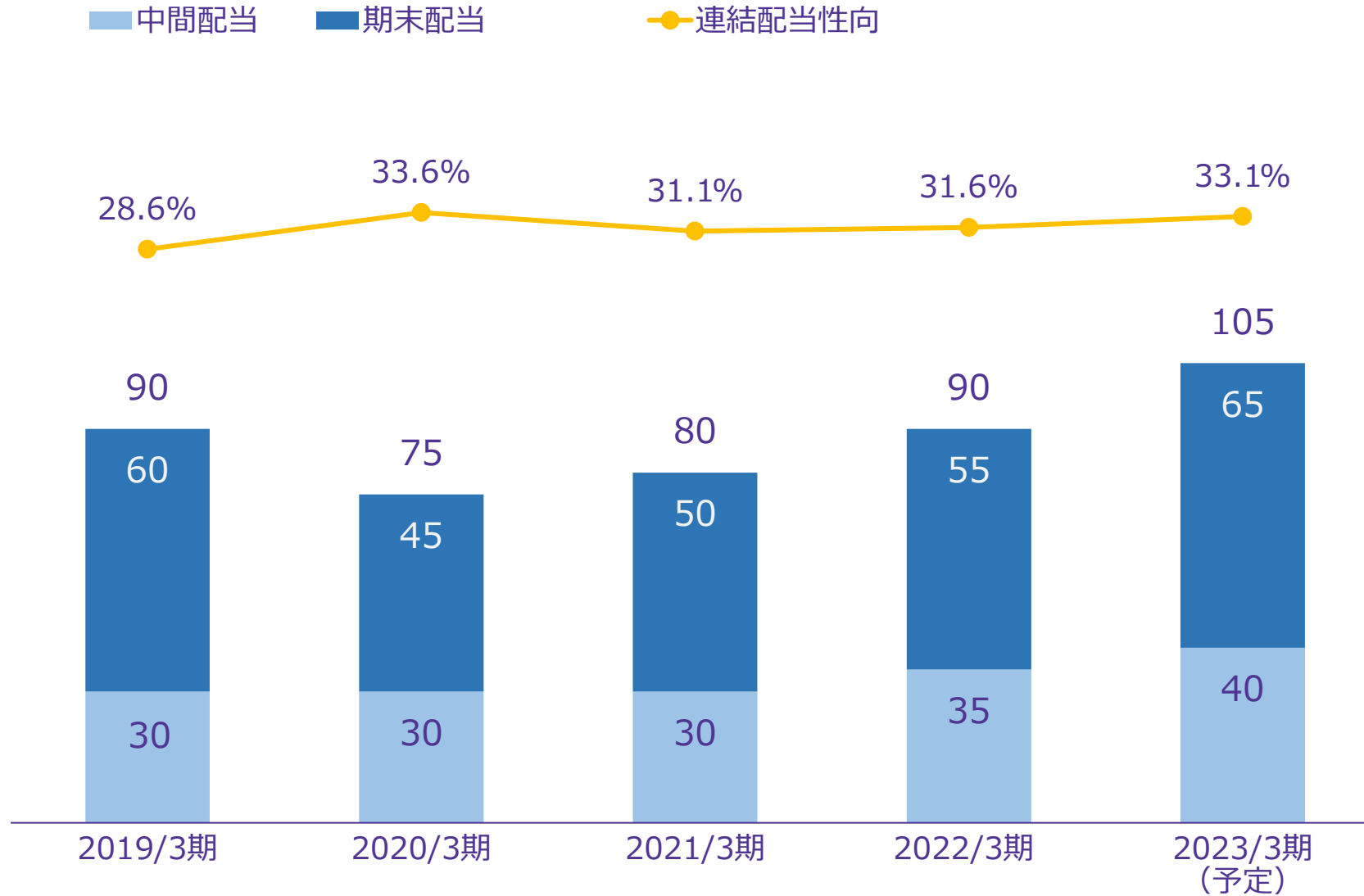


2023年3月期 業績予想 (連結)

(億円)

	2022/3期 通期 (a)	2023/3期 通期予想					
		5/13 公表	8/8 公表 (b)	11/8 修正公表(c)	増減額 (c-b)	対前年 増減額 (c-a)	対前年 増減率 ((c-a)/a)
受注高	5,890	6,000	6,300	7,100	+800	+1,209	+20.5%
売上高	5,122	5,650	5,650	5,800	+150	+677	+13.2%
営業利益	502	565	565	570	+5	+67	+13.4%
経常利益	512	575	575	577	+2	+64	+12.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	358	396	396	400	+4	+41	+11.5%
1株当たり当期純利益	284.71円	314.24円	314.24円	317.42円	+3.18円	+32.71円	-

(円)



目次へ

トピックス



2022年10月、米国ミシガン州ポインシティに、当社グループ会社「Jervis B. Webb Company」の空港向け製品や無人搬送車の製造を担う新工場が竣工しました。生産能力を増強するとともに、既存3工場を集約し生産効率の向上も図りました。

投資金額：2,600万米ドル

敷地面積：約8万9,000平方メートル

建物面積：約2万900平方メートル



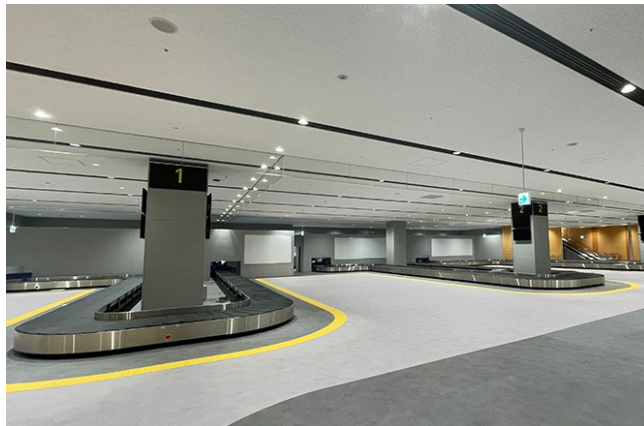
オープニングセレモニー時の見学の様子



無人搬送車

2022年10月、当社は大阪・関西万博（2025年）を見据え大規模なリノベーション工事を行っている関西国際空港第1ターミナルビル（国内線）に、最新の手荷物搬送システムと集中監視システムを納入しました。各種コンベヤや手荷物の位置を常時監視・追跡できるソフトウェア等を組み合わせることで、受託手荷物の遅延や未着を防止し、管理コストの軽減や顧客満足度の向上に繋がっていきます。関西国際空港は、国際線のリノベーション工事も行っており、こちらは2025年にグランドオープン予定です。

関西国際空港のリノベーションの詳細は以下をご参照ください。
www.kansai-airport.or.jp/t1renovation（外部サイト）



到着出口のカーセルコンベヤ



手荷物搬送システム

当社国内最大のマザー工場「滋賀事業所」では、2013年に稼働したメガソーラーを含め11月からは事業所内で使用する電力を全て再生可能エネルギー由来へと切り替えました。CO₂排出量に換算すると、当社グループのスコープ1、2の約16%が削減（2018年比）されます。

ダイフクグループ各社においても、日本（コンテック本社）、中国（常熟工場）に太陽光発電システムを設置しました。また、中国（蘇州）、韓国、タイ、台湾、米国でも2023年から2024年にかけて設置を計画しており、再生可能エネルギーの導入を拡大しています。

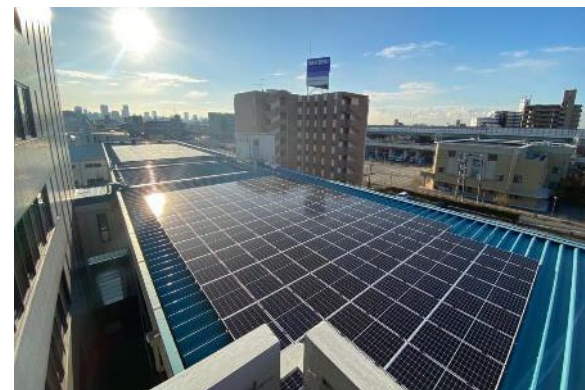
今後も省エネ活動を推進するとともに、太陽光発電システムの導入や再エネ電力メニューへの切り替えなどを順次実施し、脱炭素社会の実現に向けて、全社横断的に取り組みを進めていきます。



2013年に稼働した
滋賀事業所のメガソーラー



自動車生産ライン向けシステムの工場
（中国・常熟）の屋根に太陽光発電
システムを設置（2021年）



コンテック本社の屋根に太陽光発電
システムを設置（2022年）



半導体・液晶生産ライン向けシステムの
工場（中国・蘇州）の屋根に太陽光
発電システムを設置予定（2023年）

DAIFUKU

Automation that Inspires

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。